

# お知らせ

INFORMATION

No.2021-29

2021年9月

病体生理研究所

## 検査内容変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、測定試薬販売中止のため代替試薬へ変更させていただきます。これに伴い報告内容が変更になります。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

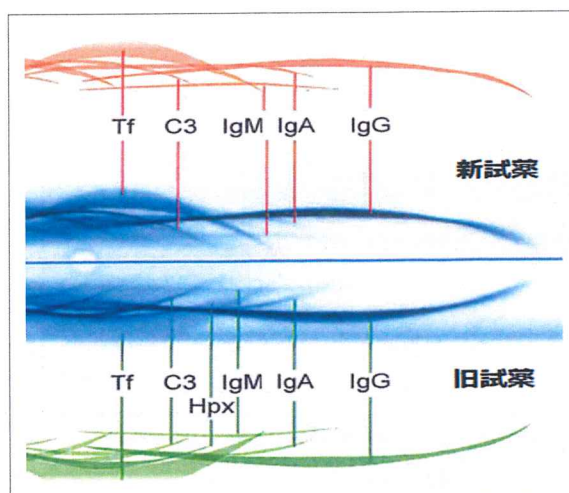
敬具

記

### 【変更項目】

#### ◆ 免疫電気泳動 (IEP)

| 検査項目<br>〔コード〕 検査案内掲載頁                                      | 変更<br>内容 | 新  | 従来   | 備考  |
|--|----------|--|--|---|
| 免疫電気泳動 (IEP)<br>血清 [10392]<br>尿 [10492]<br>髄液 [11431] P.57 | 報告<br>内容 | (蛋白成分)<br>Hemopexin<br>〔ヘモペキシン〕<br>判定なし<br>全 10 種類 | (蛋白成分)<br>Hemopexin<br>〔ヘモペキシン〕<br>判定あり<br>全 11 種類 | *Ceruloplasmin については異常時コメントにてご報告します。<br>*その他の変更はありません。<br>※裏面参照 |



泳動像の比較 <資料提供ヘレナ研究所>

※ 新規試薬は、現行試薬と比較して Hemopexin の沈降線が捉えづらく、正確な増減の判定を行うことができません。試薬変更後は Hemopexin を除いた全 10 種類の蛋白を増減判定対象といたします。

《変更日》 2021年10月4日(月) 報告分より

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 電話 03-3956-4101 (代表)

◆新報告書と現報告書について

《新》

**免疫電気泳動検査報告書** お問い合わせNo. \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_ 科名 \_\_\_\_\_ 検体種類 血清・尿

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_  
性別 \_\_\_\_\_

患者ID \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_

採取日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 受付日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 発行日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

□泳動写真

抗ヒト血清  
対  
照  
患者  
抗ヒト血清

□解析結果 (↑やや増加・↑↑著増・↓やや減少・↓↓著減・×欠如)、(○印の蛋白が尿、髄液中に認められます)

|            |                |             |                  |  |   |             |  |   |     |  |
|------------|----------------|-------------|------------------|--|---|-------------|--|---|-----|--|
| Prealbumin |                | α2          | α2-Macroglobulin |  | β | Transferrin |  | γ | IgA |  |
| Albumin    |                | Haptoglobin |                  |  |   |             |  |   | IgG |  |
| α1         | α1-Antitrypsin |             |                  |  |   |             |  |   | IgM |  |

■今回の免疫電気泳動パターンのみから推察すると、次の病態の存在が考えられますが、臨床所見及びその他の検査所見を総合したうえで、診断及び治療の参考にされるようお願い致します。なお、すでに臨床的意義の明らかにされている血清タンパクについては、別個に定量されるようお勧めいたします。

急性の炎症性疾患  慢性の炎症性・組織崩壊性疾患  
 慢性腎臓病 (尿中蛋白)  慢性肝臓病 (尿中蛋白)

《現》

**免疫電気泳動検査報告書** 受付No. \_\_\_\_\_ お問い合わせNo. \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_ 科名 \_\_\_\_\_ 検体種類 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年齢 \_\_\_\_\_  
性別 \_\_\_\_\_

患者ID \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_

採取日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 受付日 \_\_\_\_\_ 年 月 日 発行日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

□泳動写真

抗ヒト血清  
対  
照  
患者  
抗ヒト血清

□解析結果 (↑やや増加・↑↑著増・↓やや減少・↓↓著減・×欠如)、(○印の蛋白が尿、髄液中に認められます)

|            |                |               |                  |  |   |             |  |   |     |  |
|------------|----------------|---------------|------------------|--|---|-------------|--|---|-----|--|
| Prealbumin |                | α2            | α2-Macroglobulin |  | β | Hemopexin   |  | γ | IgA |  |
| Albumin    |                | Ceruloplasmin |                  |  |   | Transferrin |  |   | IgG |  |
| α1         | α1-Antitrypsin |               | Haptoglobin      |  |   |             |  |   | IgM |  |

■今回の免疫電気泳動パターンのみから推察すると、次の病態の存在が考えられますが、臨床所見及びその他の検査所見を総合したうえで、診断及び治療の参考にされるようお願い致します。なお、すでに臨床的意義の明らかにされている血清タンパクについては、別個に定量されるようお勧めいたします。

急性の炎症性疾患  慢性の炎症性・組織崩壊性疾患  
 慢性腎臓病 (尿中蛋白)  慢性肝臓病 (尿中蛋白)

削除

Ceruloplasmin を削除します。異常が認められた場合にコメント欄にてご報告いたします。